

【観察と研究】

和歌山県白浜町で発見された大型のジンガサウニ（ナガウニ科）

Shin KUBOTA: A large specimen of *Colobocentrotus mertensii* (Echinometridae) at Shirahama town, Wakayama Prefecture, Japan

久保田 信

和歌山県西牟婁郡白浜町沿岸は、南方系稀少種のジンガサウニ *Colobocentrotus mertensii* Brandt (ナガウニ科) の分布の北限海域であり、しかも1972年には、白浜町の隣町であるすさみ町の沿岸で、水深8m地点より長径75mmもの特大の1個体が、えび網にかかった記録がある(田名瀬ほか, 2007)。今回、この特大個体よりやや小型であるが、大型個体が白浜町沿岸で生息することが確認されたので記録する。

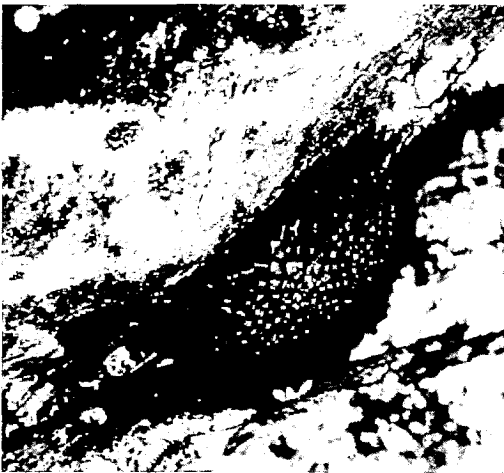


図1 和歌山県西牟婁郡白浜町の磯に生息する
ジンガサウニ

和歌山県西牟婁郡上富田町在住の水野泰邦氏により、2009年4月10日に、少なくとも2個体が干潮時の磯観察中に発見され、現場で生息状況(図1)も撮影され、1個体は捕獲された(図2)。2個体の内のより大型の個体は、採集されてから数日後(採集後は冷蔵庫内で保管)に筆者に届けられ、計測・写真撮影後にエタノール液で保存・保管した。この個体は、周辺の扁平な棘を除く殻の大きさが、長径60mm、短径55

mm、高さが28mmであった(図2、3)。

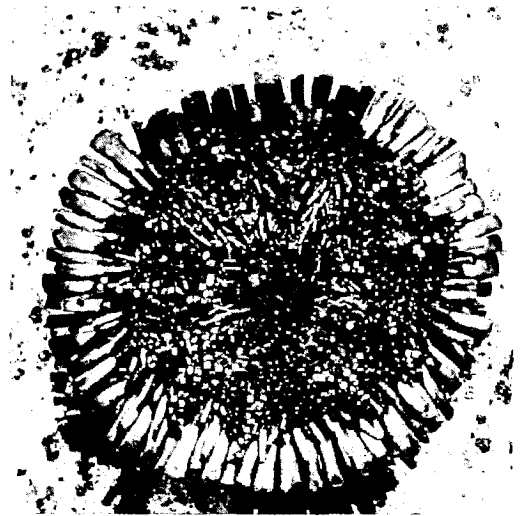


図2 和歌山県西牟婁郡白浜町産の
ジンガサウニの大型個体(腹面)

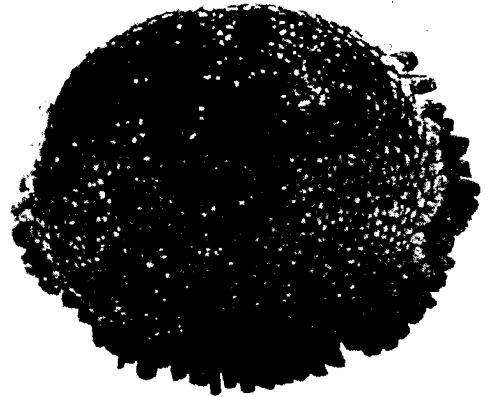


図3 和歌山県西牟婁郡白浜町産の
ジンガサウニの大型個体(背面)

わが国では本種の大きさは、通常、長径4-5 cmなので（重井，1995）、今回の個体は前記のすさみ町の特大個体までは成長していないとはいえ大型個体で、越冬を複数回重ねて成長してきたと推定される。今回の2個体の新たな確認により、白浜町海域に限定すると、これまでわずか4個体だけの発見となり（田名瀬ほか，2007参照）、それらの長径は20mm-60mmの範囲の記録となる。

謝辞

ジンガサウニの生体標本ならびに生態写真（図1、2）を提供して下さった水野泰邦氏に深謝致します。

引用文献

- 重井陸夫. 1995 : ナガウニ科. in西村三郎編著.
原色検索日本海岸動物図鑑II, 546-547.
保育社, 大阪.
- 田名瀬英朋・土生紳吾・久保田 信. 2007 : 和歌山県中部地域の海岸におけるジンガサウニナガウニ科の記録. 南紀生物, 49(2), 175-176.

京都大学フィールド科学教育研究センター
瀬戸臨海実験所
(〒649-2211 西牟婁郡白浜町459)